

文字サイズ 標準 拡大

検索 ...

会員向け

入居者・家族向

従事者向け

[ホーム](#) [協会の概要](#) [協会の取組み](#) [研修・セミナー](#) [支部活動](#) [会員紹介](#) [会員向け](#)

[公益社団法人 日本認知症グループホーム協会](#) > 【日本GH協】『認知症対応型共同生活介護「自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール」の活用について』掲載のご案内

【日本GH協】『認知症対応型共同生活介護「自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール」の活用について』掲載のご案内

グループホーム協会からのお知らせ

令和3年8月19日

令和3年度介護報酬改定におきまして、グループホームは、①従来の外部評価による評価か、②運営推進会議を活用した評価か、どちらかを事業所の判断で選択できることとなりました。

また、②運営推進会議を活用した評価の具体的な運用につきましては、解釈通知において、当協会が平成28年度老健事業で作成しました、「自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール」を参考に実施することと示されています。

当協会では、運営推進会議を活用した評価を選択した事業所が「自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール」を有効に活用できるように、報告書の内容を踏まえた上で、その活用方法について改めて整理しました。

運営推進会議を活用した評価を実施する際の補助資料として、ぜひご活用ください。

- 「自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール」の活用について（PDF形式）
- （参考様式1）自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール（PDF形式）
- （参考様式1）自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール（ワード形式・ZIP圧縮）
- （参考様式2）利用者一人ひとりの状況（利用者個票）（PDF形式）
- （参考様式2）利用者一人ひとりの状況（利用者個票）（ワード形式・ZIP圧縮）
- （参考様式3）利用者一人ひとりの状況（全体票）（PDF形式）
- （参考様式3）利用者一人ひとりの状況（全体票）（ワード形式・ZIP圧縮）

- （参考様式4）目標達成計画（PDF形式）
- （参考様式4）目標達成計画（エクセル形式・ZIP圧縮）

【照会先】

日本認知症グループホーム協会事務局

担当 堀

TEL 03-5366-2157

FAX 03-5366-2158

Mail hori @ ghkyo.or.jp

令和3年8月19日
公益社団法人日本認知症グループホーム協会

認知症対応型共同生活介護「自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール」の活用について

1. 認知症グループホームのサービス評価について

- 認知症グループホームは、運営基準において、自らその提供するサービスの質の評価を行うとともに、定期的に、外部の者による評価もしくは運営推進会議における評価のいずれかを受けて、それらの結果を公表し、常にその改善を図らなければならない、ということが義務付けられています。
- サービス評価制度は、介護保険制度創設時に、認知症グループホームの質の担保が求められる中で、グループホーム開設者が主体となって、自ら原型を作り上げた制度であり、サービス評価項目の内容及び範囲は、指定基準を上回るものとして、さらに「地域密着型サービスとしてのグループホームらしさ」が確保されているかを評価する基準となっています。
- 地域包括ケアシステムの構築が進められる中で、地域密着型サービスとしてのグループホームらしさが問われ、また、新たに地域における認知症ケアの拠点としての役割が求められる中で、サービス評価に事業所自らが積極的に取り組む意義はますます大きくなってきているといえます。
- 運営推進会議における評価を選択した場合でも、サービス評価の質を落とすことなく、職員間での話し合いや地域の方との意見交換等を通じ、サービス評価項目の考え方（グループホームらしさ）や運営推進会議の意義について、再認識するきっかけとなることが望めます。

2. 「自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール」の活用について

- 令和3年度介護報酬改定では、認知症グループホームにおける「第三者による評価」について、既存の外部評価（都道府県が指定する外部評価機関によるサービスの評価）は維持した上で、小規模多機能型居宅介護等と同様に、自らその提供するサービスの質の評価（自己評価）を行い、これを市町村や地域包括支援センター等の公正・中立な立場にある第三者が出席する運営推進会議に報告し、評価を受けた上で公表する仕組みが制度的に位置付けられ、当該運営推進会議と既存の外部評価による評価のいずれから「第三者による外部評価」を事業者が選択することとなりました。
- また、「運営推進会議を活用した評価」を選択した場合は、当協会が実施した平成28年度老人保健健康増進等事業「認知症グループホームにおける運営推進会議及び外部評価のあり方に関する調査研究事業」報告書を参考に行うものとされ、その評価の参考様式として「自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール」（参考様式1）が示されています。（「指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準第3条の37第1項に定める介護保険推進推進会議、第85条第1項（第182条第1項において準用する場合を含む）に規定する運営推進会議を活用した評価の実施等について」（平成27年3月27日老健発0327第4号、老健発0327第1号））
- ここでは、「運営推進会議を活用した評価」を選択した事業所が「自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール」（以下、「活用ツール」という。）を有効に活用できるように、報告書の内容を踏まえた上で、その活用方法について改めて整理しました。なお、活用ツールにおける「外部評価」は既存の外部評価ではなく、「運営推進会議を活用した評価」であることに留意してください。

1

- 8 -

(参考模式 2)

[illegible]

(参考形式4)

目標達成計画

達成目標 _____

達成日 年 月 日

目標達成方法は、自己評価及び外部評価結果をもとに数値・質で表したステップへ向けて取り組みの目標について設定しています。

目標達成の計画ステップとして、常に目標よりさらに進捗を加速化できなければならないよう、事業計画の達成のレベルに合わせた目標水準を考えた上で、優先して取り組むべき内容を決定し入ります。

【目標達成計画】

優先度 (高/中/低)	項目における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的取り組みの内容	目標達成の 進捗状況
1				○
2				○
3				○
4				○
5				○

注：目標達成については、数値目標達成率を必ず記入する必要があります。数値目標が達成できない場合は、理由を記入してください。

